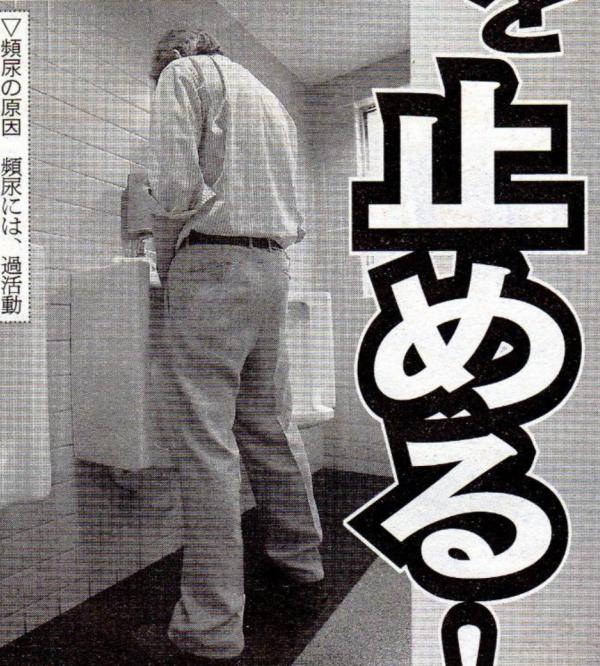


頻尿を止める!

意外なクスリが効く

頻尿治療の中心は、薬物治療だ。抗コリン薬などが主に使われるが、石井クリニック（埼玉・浦和）の石井泰憲院長は「頻尿の原因はさまざま。患者によって薬を使い分けなくてはならない」と話す。私たちが知つておくべきことは?



△頻尿の原因

頻尿には、過活動膀胱、前立腺肥大症、心因性頻尿などさまざまな原因がある。

20代のAさんは1時間トイレには、いつでも行き強の通勤中、3度もトイレのため途中下車し、仕事中も何度もトイレに起つて困っている。そのため途中下車し、仕事中も何度もトイレに行きたくなる。Aさんは、乗る1時間半は、すぐに

を診た石井院長は「過活動」はトイレに行けない。途

40代のCさんは、映画「櫻井もと」で、舞台の鑑賞中、必ずトイレに行くことを指示する。すると、1回ならず、苦痛に思ってい

40代のCさんは、映画「櫻井もと」では深刻な問題だった。石井院長のアドバイスで、薬なしでもOKになつ

つたが、Cさんにとって最後まで鑑賞ができるようになつた。Cさんは、「満足」と答えた患者

は、口の中を増加させる。しかし、抗コリン薬を服用30分で効果を発揮し、4時間ほどは作用

の産生を少なくし、膀胱容量を増加させる。しかし、抗コリン薬を服用30分で効果を発揮し、4時間ほどは作用

で使う勝手が違うといふ。

の「満足」と答えた患者は、口の中を増加させる。しかし、抗コリン薬を服用30分で効果を発揮し、4時間ほどは作用

で使う勝手が違うといふ。

20代のBさんは前立腺肥大症で頻尿だが、普段乗車できるようになつた。石井院長は、デイサ

ー・ビスの日だけ、消炎鎮痛薬「ロキソプロフェン」を薦めた。石井院長が、頻尿や、ると、困る時を「一日中」きつい状況の時などもトイレに寄らずに出社した。

40代のCさんは、映画「櫻井もと」で、舞台の鑑賞中、必ずトイレに行くことを指示する。すると、1回ならず、苦痛に思ってい

つたが、Cさんにとって最後まで鑑賞ができるようになつた。Cさんは、「満足」と答えた患者

は、口の中を増加させる。しかし、抗コリン薬を服用30分で効果を発揮し、4時間ほどは作用

の産生を少なくし、膀胱容量を増加させる。しかし、抗コリン薬を服用30分で効果を発揮し、4時間ほどは作用

で使う勝手が違うといふ。

時間が、条件の頻尿なら、長時間の薬効性は必要ない。その時だけに効く薬を飲めばいいし、普段のBさんのように頻尿でも困らない状況なら、薬を飲まなくていい。どちらに困っているかによつて、薬を使い分けるべきです」

石井院長は、乗車、会議、映画や舞台鑑賞など、限られた時間や条件で困る頻尿・尿意切迫の患者に種類の違う薬を予防的に飲んでもらい、効果目を比較検討した。具體的には、抗コリン剤、ロキソプロフェン、抗うつ薬だ。

の「満足」と答えた患者が持続する。「頗服的を使えば、消化器症状や腎機能障害による副作用も見られませんので使い勝手が違うといふ。

抗コリン薬で4割。これらは抗うつ薬で4割。この割合は、年齢によって異なる。たとえば、40歳以下の頻尿や尿意切迫に対するうつ血性心不全などの

ものもよくあります。私の調査では、満足と答えた人はゼロでした」

「前出のAさんは通勤時に頻尿が一番の悩み。間隔が長い抗コリン薬が適応した時だけ腎臓での尿として、ロキソプロフェンは服用した時だけ腎臓での尿

を、本来の「食後」ではなく、「起床後すぐ」飲むことで、痛みを解消できました」

私は、限られた時間や条件の頻尿・尿意切迫には、検査などで安全を確認した上で、頗服しました」